

第5回 講師：博報堂DYメディアパートナーズ 顧問 **副島 洋一郎 氏**

テーマ：「NEXT MARKETING」

取締役副社長
文責：横田 郁夫

11月20日、第5回AD塾の講師に博報堂DYメディアパートナーズ顧問、副島洋一郎氏をお招きして、ご自身の39年間広告業界で経験されてきた体験談そして裏話をお話頂きました。今までの広告代理店の収益は、約7割が媒体収入であったがクライアントへの提案型として共存していくコンサルティング型への変貌が求められている。それは、以前担当された企業に対して責任代理店制を提案し認められ、企業の売上に比例した利益分配という画期的な試みで経営にもダイレクトに参画出来た事から、クライアントとの繋がりが強固なものになったそうです。クライアントと広告会社における進化形。この話に私達は非常に興味を持ち、更にビール業界での既存商品のアイデア表現成功事例に興味深く耳を傾けました。また、失敗事例ではプレミアム商品企画が上手くいかず、多くの在庫を抱えてしまった状況で、それを逆手にとって全ての在庫をなくしたなど、失敗からの逆転の発想を「活路を見出す方法は窮地に落ち入ればいい」と説かれました。また、「おもしろきこともなき世をおもしろく」これは幕末の志士高杉晋作の辞世の句ですが、副島氏は常にこの言葉を抱き「世の中を面白く生きよう、面白くしよう」と思っているそうです。だからこそ、この仕事が面白いのだと。この仕事に携わっている私達が思い、そして弊社社長が常々力説されるポジティブシンキングに共通する考え方と一致した時間でした。あっという間の2時間に及ぶお話の締めは、「日本再生への気概」。2025年に日本の平均年齢は50歳に達し、世界に類を見ない少子高齢化時代に入るといわれています。女性の更なる社会進出が不可欠になり、女性がエンジンになるという表現をされていました。消費を支えているデジタル熟女層。そして50歳以下のワーキングウーマン。20代30代の激務ワーカーと女性にターゲットを絞った、時代を見据えたマーケティングからヒット商品が生まれるそうです。同様に「若い・病い・死」と高齢化時代に避けて通れない事柄のマーケティングも更に必要になってくるとお話しされました。終了後の懇親会の中でお話を聞き足りない弊社社員から質問を投げられ出張疲れであったにも関わらず親切な対応をして頂きました。ありがとうございました。



今回は… 第6回 AD塾

日時：1月22日(火)18:00~20:00

講師に JAF MATE社 編集長 **鳥塚 俊洋 氏** をお招きします。



鳥塚 俊洋 氏 プロフィール

1963年香川県生まれ。電子技術系専門誌編集者を経て、1989年(株)JAF MATE 入社。以降、現在まで月刊 JAF Mate 編集部で所属し、2000年副編集長、2003年より編集長。また、デジタルコンテンツおよびドライブレコーダー業務を扱う「eJAFMATE」編集長兼任。「月刊 JAF Mate」は(社)日本自動車連盟の会員向け雑誌として、国内の定期刊行物では最大の1100万部以上を発行。JAF Mate から派生した単行本等も手がける。デジタルコンテンツは「JAF Mate パーク」「ドラドラサイト」「おおくナビサイト」他多数を公開中。AR技術を活用した「動フォト」、マイカー向けドライブレコーダー「ドラドラ」の開発販売、および記録データの活用研究も積極展開中。

受講者募集中！ >>> 弊社社員までお問合せください。1/18(金)まで受付。

ここにもあった、20年！
岩澤社長の頭の上！・・・そう言えば、何か有りましたね！
20年前、創業時の三崎町事務所5階+社長室(当時)の打合せテーブルの上にそっと置いておきました。それ以来、このような熊手が必ず会社の中のどこかに有りました。商売繁盛、千客万来を祈願して！
江戸時代より、正月を迎える最初の祭りとして、11月「酉の日」の祭りが12日おきに巡ってくるため、祭りが2回の年と3回の年があり、現在でも「三の酉」まである年は寒くなるので火を使うことが多く、火事が多かったと言われていました。因みに今年には「二の酉」までです。この後の年末行事としては、12月の「歳市の市」(以前の名は羽子板市)「がさ市」(正月飾りの市)「除夜の鐘」に続き、新年を迎えます。どうぞ、皆様良いお年をお迎えください。

Producer **平田 元春**

うんちく！ お酉様の歴史！
浅草西の市は、寛永7年(1630年)の長国寺に安置される「驚妙見大菩薩」(わしみけんたいぼさつ)のご開帳日に立つ門前市から始まりました。江戸の中頃より、東隣に新吉原を控えていたことで賑わいを増していき、明治時代に「神仏分離令」によって、浅草西の市は、西の寺・長国寺と、驚妙見大菩薩に開催するようになりました。

熊手の由来！

1. 札の爪の鷲づかみ 運を鷲づかみ、運をかへ込む熊手へ
2. 戦勝祈願の軍扇 神仏に祈願の奉納、開運を招く熊手へ
3. 農具から縁起物へ 落葉集める農具、運と金を履きき込む熊手へ

第7回 たまには休まれたらいかがでしょう。

川崎市若原農園
うちの野菜はうめえわー。

朝夕めっきり寒くなりましたが、いかがお過ごしですか？ 成長中の野菜たちの紹介です。

キャベツ、ハクサイ、ダイコン、タマネギ、タマネギ300

COO代表取締役社長 **岩澤 二三夫**

300本のタマネギ植えました！ 収穫は、来年の6月初旬です！ 土を耕し、苦土石灰、たい肥、ぬかなどを混ぜてマルチ(黒ビニール)を引いて5cmの穴を10cmおきに穴を開けて、タマネギの苗を1本づつ植えて行く作業です。

「東日本復興支援活動」ががんばろう南相馬！

最近のボランティア活動は、海岸の捜索と清掃活動。海からの漂流物の中、もしくは海岸線の砂地の中、テラポットの中から遺骨らしきものが見つかります。

海岸作業中、海岸ゴミ

～プロデューサーへの道～
夜明けの Entertainment 第13回



CEO代表取締役会長 檜垣 俊幸

「エンターテインメント志向である＝エディテイン (adtain)」が大切であることに對しては誰も異存は無いであろうが、問題は具体的に何をすることが大切なのかを聞きたい人は多いと思います。しかし、結論を急ぎ、行動を求め、効果を期待するのは、エンターテインメント志向的には、真逆の方向にあると言えます。まず大切な事は、楽しく明るく暮らしを行い、感謝や尊敬の心を持って暮らす事から始まります。ポジティブ・マインド形成を行う事は容易くありません。生活習慣病の人が、食生活の改善から始めるのと同じです。自分の体質である感性や思考回路を変革する事から始まり、常にエクササイズを怠らない事が大切なのです。更に、暮らしのメモ帳を作成し自分の得意な分野で(作詞・作曲・散文・スケッチ・スタンプ) 記す事が大切です。この「記事」とは、自分の知的感性を記号化し、短時間で判別理解する為に大切な事であり、自分のポジティブ・マインド形成の変化が分かります。自画像の絵画を毎年描く事も良いでしょう。これは、ポジティブマインドを形成するには有効な手段と言えます。皆さんが描く企画書などもしっかりと編集集積・保存し、時間が経って好きな言葉をマーキングし、ポジティブ・マインドをチェックする事なども有効な手段と言えます。このポジティブ・マインド形成を行い体質改善ができた自分が自然に発想する企画案には、ホスピタリティーがあり、エンターテインメント志向が整った企画であると言えます。人を楽しくさせたり、感動を与える作品作りは、まるで、サーカスのピエロの様に泣いたり、笑ったり、怒ったりの表情の開発を行い、相手の心的現象を的確に捕えながら、軽快なリズムで引き込み、ポジティブ・マインド因子を手渡しする事が大切です。あの人の様な生き方をしたいと言われる素敵なプロデューサーを目指す事もポジティブ・マインド形成には大切な事です。心に手を置いて、自分の生き様を振り返って下さい。今からでも遅くありません。素敵なプロデューサーを目指してください。少年の様に心を「ドキド



世界のモデル Lily / 英国と日本のハーフ、19歳学生。Height:171cm B:86 W:60 H:88

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

キさせ」「ワクワクさせる」事は年を重ねると少なくなると聞きます。経験を重ねると刺激に鈍感になってくるからでしょうか？ エディテイン(adtain)を志すプロデューサーはそれではいけません。その為には、「ポジティブな恋」をしましょう。「恋」は、最高のホスピタリティーを育成します。心をいつまでも瑞々しく保つためには、大好きな人を作ってください。そして、相手を大切に作る体質を作り「ホスピタリティーな恋の宝庫」と呼ばれる adproject を実現しましょう。

◆ 次回は… ～プロデューサーへの道～ 「夜明けのエンターテインメント 第14回」をお送りします。

世界の彫刻物
～ドバイ～
アラブ首長連邦国にあるリッチなドバイを象徴するこの像には、しなやかでゴージャスな建物を表現したボーダーデザインがあります。2005年1月に発表したこの作品は、アルミで制作され、世界最大のアルミ精錬工場のあるドバイの重要な経済を象徴しています。680kgの重量と2.7mある、この像の球体はドバイの成長と拡大を強調し球体の中心にはアラブ首長連邦の形をした青色のアルミ超高輝度青色LEDがあります。

リッチな彫刻～?
Heath Satow 作 (February 6, 1969～)

営業本部 第1プロジェクト

TOPICS

作品名：プリクラッシュブレーキ同乗体験会

日時：2012年10月6日~7日、10月13日~14日
会場：お台場パレットタウン
種類：制作・運営

Producer
今宮 歴哉



▶ ぶつからないクルマを多くの方に!!

今回、「ぶつからないクルマ」を多くの方に体験して頂くということで、10月初旬に開催された「お台場学園祭」にて、富士重工株式会社様の「プリクラッシュブレーキ同乗体験会」の制作・運営を担当いたしました。そもそもご依頼をいただいたきっかけは、5月に神戸で開催された「神戸カーライフ・フェスタ」にて制作や運営を行っていた弊社の事を覚えて頂き、今回のイベントへとつながったのです。

「プリクラッシュブレーキ」というと少々聞き覚えのない言葉ですが、「Eye Sight」や「TOKIOのCM」等のフレーズは見たり聞いたりして知っている方は多いはず。ただ、ぶつからないクルマという事を頭で理解していても「本当にぶつからないのか!」「本当に止まるのか!」「本当にCMみたいなのか!」といった疑問は解消されません。中には「Eye Sightを所有しているけれど実際に機能を試すことがなくて…」といった来場者も多くいらっしゃいました。その為、実施時間中「ものは試しに」と予想以上の沢山のお客様に「プリクラッシュブレーキ同乗体験」にご参加頂きました。

「お台場学園祭」は「学園祭」という名前の通り、普段のイベントと違いガチガチのマニュアルがあるわけでもなく、手作り感満載のイベントだった為、いつも以上に搬入搬出の時間や場所、安全確保について気を使い、事務局と交渉を行いました。また、当初の予定では試乗会だけだったスペースに「控え車両」と称して展示車両を展示することで、より効果的な演出ができたことなど、普段は運営にばかり気をとられてしまいがちでしたが、お客様やご来場者の立場など少し客観的に運営をとらえることで、「あったらいいな」「○○だといいな」を少しだけ形にすることができました。

これからも、少しずつですが「また、頼むよ」と言って頂けるような丁寧な仕事を心掛けて参ります!!



▲テレビCMで見たことのある方は多いはず…ただ、実際に体験した方は少ない。



◀常に順番待ちの「プリクラッシュブレーキ同乗試乗会」



営業本部 第2プロジェクト

作品名：玉川高島屋セサミストリートハロウィンイベント

日時：2012年10月27日、28日、31日
会場：玉川高島屋SC
種類：グリーティングイベント

Assistant Director
林 諒



▶ セサミストリートのキャラクターと子供たち

最近では、クリスマス、バレンタインなどのメジャーなイベントに加え、ハロウィンを楽しむ方が増えてきていると感じます。街中でハロウィンの時期になると、仮装グッズや装飾品など、お店に並んでいるのをよく目にします。今年も玉川高島屋SCでセサミストリートハロウィンイベントを行わせていただきました。セサミストリートのグリーティングを行い、お父さんやお母さんに連れられて、仮装をした小さなお友達に元気いっぱい参加していただき、中には日本に住む海外の方も、お子さんを連れて、会いに来て下さいました。28日(日)のパレードには、あいにくの雨にも関わらず、たくさんの方が参加され、最終地点で待っているセサミストリートのキャラクターに喜んでいただき、今年のハロウィンイベントも、大盛況のうちに終了しました。

セサミストリートを知らない子供たちが増えていると言われていた昨今、正直このイベントで子供たちがどんな反応をするのか気になったところですが、実際イベントを行ってみて「エルモは何時遊びに来てくれるの?」などと、質問をしに来てくれる子供もいて、認知度はそこまで低くないのでは?と感じました。私自身、セサミストリートが好きです。セサミストリートTVをみて育った世代として、今の子供たちにセサミストリートをもっと知ってもらいたいと考えています。欧米に比べ日本は、スキンシップ、つまり触れ合うという行為が少ないといえます。そこで、セサミストリートのグリーティングを機会に、エルモやクッキーモンスターのようにフワフワした体でハグをされれば、きっと子供も優しい気持ちになります。アーニーやパートの様に一緒に遊んでくれて、頭をなでしてくれるキャラクターは、子供の心を豊かにするでしょう。多くの子供たちにセサミストリートを広めていきたいです。



★Lord & Taylorのウィンドー★

ロード・アンド・テイラー(Lord & Taylor)では、75年目のウィンドーディスプレイになり、今年のテーマは「クリスマスの伝統」。各ウィンドーには北アメリカ、ヨーロッパ、そしてアジアを旅して世界のクリスマスを見て回るサンタの休日、という設定で飾られています。イブにプレゼントを子供たちへ届ける前に、下調べというところで



★Bloomingdale'sのウィンドー★

ブルームिंगデイル(Bloomingdale's)はシルク・ドゥ・ソレイユの映画「彼方からの物語」の夢のようなシーンをフィギュアで見事に再現し、ウィンドーの開幕式ではシルク・ドゥ・ソレイユメンバーによるパフォーマンスが店頭で行われました。その他、ウィンドーを覗くと写真を撮られ、フェイスブックに写真がアップされるという参加型の仕掛けも。



★Macy'sのウィンドー★

最後に、NYの代表的なデパートとして有名なメイシー(Macy's)でも毎年欠かさず素晴らしいウィンドーが発表されています。今年のテーマは「Believe(信じる)」という、何ともクリスマスらしいコンセプト。開幕式ではブロードウェイで活躍中の子役シンガーがクリスマスキャロルを披露。サンタを信じる、奇跡を信じる…「信じる」気持ちを大事にしたい季節です。



★Macy's正面玄関★

TABLE ENTERTAINMENT

使い続けて20余年、未だ解読しきれない惱ましきワードエンターテイメント。巷の作品を紹介しながら一緒に解読していきましょう。

第7回
エンターテイメントとは「走り続けること」である。

既にご案内済みとは存じますが、弊社はこの11月で創業20周年を迎えることができました。

20年と言えば赤ん坊が成人式、おやじ狩り加害者がおやじ狩り被害者に。AV女優は「ロリータ・レイナのプルセラ天国」が「セレブ美魔女玲奈・禁断の屋下がり」と役柄が変わってしまいます。(相変わらず下世話でごめんちゃい)まさに光陰矢の如しですね。

ほくも寛大なお客様と、最強のスタッフに支えられながら、なんとか20年走り続けることができました。(以下敬称略)CCCグループの展示会、伊藤忠商事のビアパーティ、博報堂のスポーツイベントなど…20年以上お世話になっている皆様をはじめ、常日頃支えてくださっている皆様、本当にありがとうございます。



走る女の映画を2本、最初はアンジェリーナ・ジョリーがよく走る「SALT」。途中、ある理由から下着を履かずにスカートで走り続けるアンジーにドキドキ。往年のキャスリン・ターナーの作品を観たくなりました。もう1本は「ラン・ローラ・ラン」。ヒロインのローラが恋人を助けるため、ベルリンの街を走り回る。1998年のドイツ映画だけど、テクノポップに乗せて、実写とアニメ、ゲーム感覚満載の演出は、とっても楽しくて好きだな。あれ、ローラ口調が滑らないけど、まあいいか。今日はこのままで終わっちゃおう。それでは次号でね。オッケー



常務取締役
岩下 信而

元来が急げ者ゆえ、皆様との出逢いがなかったら、夜な夜な2流モデルや自称タレントを引き連れて、三文ソングを奏でながら飲んだくれ、リボ払いを気にする人生を送っていたことでしょう。(参考文献：イソップ寓話「アリとキリギリス」)本誌面を借りて、心より御礼申し上げます。

Show Must Go On!
エンターテイメントは、途中ではやめられない!ほくたちADプロジェクトは、21年目からも「モノ」が動き、ヒトが集まる、楽しい提案」を携え、走り続けますので、今まで以上のご支援を、何卒宜しくお願い申し上げます。

これでホントにお酒が盛り上がる? 試すのはアナタ!



先月の拙文中に誤りがあります。
誤：ノーベル平和賞⇒正：ノーベル文学賞
オリンピックに続きノーベル賞にもアカデミック性の欠落が露見したお粗末な一幕。ペヘン、ベン

営業本部 第3プロジェクト

TOPICS

作品名：川越市制90周年 ライトアップ事業

日時：2012年11月4日~14日
会場：小江戸川越
種類：イベント

Producer
須田 潤一



▶ 地元密着

現在、推進している川越の氷川神社環境デザインプロジェクト。氷川神社宮司さんより、今年川越が市制90周年を迎え、そのプロジェクトの一つとして小江戸ライトアップ事業を11月に実施したく助言がほしいとお話を頂いたのが8月の下旬。

11月4日(日)から14日(水)まで小江戸川越の各所でライトアップを展開。弊社がメインで担当させて頂いたのは、川越商工会議所は明治33年創立、建物は昭和2年12月建造。文化庁登録有形文化財に指定されている建物です。

新しく立ち上げていくイベント施策として時間も予算もない中で、出来る限りのことを地元の為に貢献したく、パートナー企業のTSP太陽さんと職人さんの方々に無理をお願いしながら…。現場での点灯式も成功し、会期中約1万5000人ぐらの方にお集まりいただきました。とくに、10日(土)、11日(日)は車両を通行止めにし、仲町山吉ビルにて実施したPJマッピングには1日5000人(2日目は雨で1500人)の来場があったとのこと。残念ながら弊社の作品ではなかったのですが…。

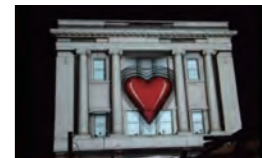
今回、お手伝いしたことによって川越在住3年目の私もさらに地元で密着し、今後さらに良いお付き合いが出来ればと深く願うばかりです。声をかけて頂いた氷川神社の宮司さんと、頑張ってくれたTSP太陽の皆さんに感謝です。来年も実施予定とのことですので、よろしく願っています。ありがとうございました。



地元一番街の方の作品
すべてペットボトルで作成。
とてもきれいでした。



商工会議所
LEDカラーストラストを使用しカラー変化
(12色ぐらいに変化させました)



今話題のPJマッピング
やりたかったなあ〜

営業本部 第4プロジェクト

作品名：お正月大抽選会!

日時：2013年1月
会場：ある商業施設(SC)
種類：制作

Producer
橋元 大輔



▶ほんとうのお客様視点を目指して!

毎年この季節になると、日経トレンディ「2012年ヒット商品ベスト30」や「2013年ヒット予測ランキング」が発表されるなど、消費に関わる話題が増え、景気に関係なく師走の忙しさ、ボーナス、クリスマスなど、いろいろな要因で消費が伸びるのは言うまでもありませんが、商業施設にとってその1年を占う意味でも、正月の福袋は、年末需要と同程度の重要性があるのも皆さまご承知のことと思います。

福袋は、今でも基本的に在庫処分品ではありませんが、近年コスト削減や収益構造転換を目指す考え方から、在庫を持たないお店(企業)も多く、正月の福袋の需要を想定した商品投入も見受けられ、瞬間的なセールの意味合いも強くなっており、そこでの売り上げ獲得は今まで以上に重要性が高くなっていると考えております。「余ったものを現金に換える」ではなく「ちゃんと収益が上がるもの売る」そのような転換の中、商業施設のお正月と言えば、和太鼓・餅つきなど伝統的なイベントを展開する事が恒例となっているところが非常に多く、皆さまのイメージもそうだと思うのです。しかし、その福袋の拡販のため「歳末大抽選会」ではなく「正月大抽選会」を展開する施設で、その1回目から今回で5回目…ずつと関わらせていただいています。

景品の「商品力」が福袋の売り上げに直結するとは言いませんが、どうせ買う福袋なら、買って得する施設で買おう。テナントが郊外も都心もそう大きく変わらなくなってきた昨今の商業施設の中で、生き残るには演出も大事ですが、もっと直接的な訴求で他施設との「差」を訴求するのが必要不可欠と実感しています。ちなみに初回は1日5000回程程度の回転数でしたが、4年目の本年正月は1日13000回程と3倍に迫る勢いで伸びており、恒例化することの大切さが身に染みているところです。さあ今年はどうなるか? 正月はいつも首都高で初日の出(涙)

- 2012年ヒット商品ベスト30
- 1位 東京スカイツリー
- 2位 LINE
- 3位 国内線LCC
- 4位 マルちゃん正麺
- 5位 ファイトカット カーブ
- 6位 JINS PC
- 7位 おさわり探偵 なめこ栽培キット
- 8位 キリン メッツ コーラ
- 9位 街コン
- 10位 黒ビール系飲料
- 11位 塩麴
- 12位 N BOX
- 13位 ソニックアー エアーフロス
- 14位 マイヤー 電子レンジ圧力鍋
- 15位 コンビニ和スイーツ
- 16位 アクア
- 17位 太陽のマテ茶
- 18位 俺のイタリヤン&フレンチ
- 19位 GALAXY S III & Note
- 20位 レノアハピネスアロマジュエル
- 21位 アレジオン10
- 22位 タトゥーストッキング
- 23位 メタリックナパズル
- 24位 ヘッドマウントディスプレイ HMZ-T1
- 25位 金環日食
- 26位 東京チカラめし
- 27位 パトロボーグ20
- 28位 もて袋袋 モイスチャー
- 29位 お掃除ロボット 2.0
- 30位 キッズダンス

http://trendy.nikkeibp.co.jp/article/pickup/20121031/1045019/1r1=ncoc
※日経トレンディ公式ページより引用

E-通信
★NY Christmas編★
小さな世界
大きな夢
Associate Producer
広川 映里夏

毎年、この季節がやってくると、クリスマス向けのスペシャルイベントや装飾が目立ちます。中でもアメリカ NYCのデパートはプレゼントを求めてショッピングに来るお客さんを引き付けようとウィンドウの装飾に命をかけます。話題性を作るため、夢のある世界を限られた空間の中で美しく、また面白く表現します。



★Lord & Taylorのウィンドー★

ロード・アンド・テイラー(Lord & Taylor)では、75年目のウィンドーディスプレイになり、今年のテーマは「クリスマスの伝統」。各ウィンドーには北アメリカ、ヨーロッパ、そしてアジアを旅して世界のクリスマスを見て回るサンタの休日、という設定で飾られています。イブにプレゼントを子供たちへ届ける前に、下調べというところで



★Bloomingdale'sのウィンドー★

ブルームINGデイル(Bloomingdale's)はシルク・ドゥ・ソレイユの映画「彼方からの物語」の夢のようなシーンをフィギュアで見事に再現し、ウィンドーの開幕式ではシルク・ドゥ・ソレイユメンバーによるパフォーマンスが店頭で行われました。その他、ウィンドーを覗くと写真を撮られ、フェイスブックに写真がアップされるという参加型の仕掛けも。



★Macy'sのウィンドー★

最後に、NYの代表的なデパートとして有名なメイシー(Macy's)でも毎年欠かさず素晴らしいウィンドーが発表されています。今年のテーマは「Believe(信じる)」という、何ともクリスマスらしいコンセプト。開幕式ではブロードウェイで活躍中の子役シンガーがクリスマスキャロルを披露。サンタを信じる、奇跡を信じる…「信じる」気持ちを大事にしたい季節です。



★Macy's正面玄関★



★Macy's正面玄関★